



IT Automation BASE 【座学】

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

Exastro IT Automation Version 1.8.0
Exastro developer

目次

1. はじめに
 - 1.1 [本書について](#)
2. 管理コンソールの説明
 - 2.1 [システム設定](#)
 - 2.2 [RBAC（ロールベースアクセス制御）](#)
3. 基本コンソールの説明
 - 3.1 [ITAにおける機器の管理](#)
 - 3.2 [オペレーションの概要](#)
 - 3.3 [ER図の表示](#)

1. はじめに

1.1 本書について

メインメニュー

- 本書では、メニューグループの「**管理コンソール**」「**基本コンソール**」についてご説明します。

- **管理コンソール**

- システム設定
- RBAC（ロールベースアクセス制御）

- **基本コンソール**

- ITAにおける機器の管理
- オペレーションの概要
- ER図の表示



2. 管理コンソールの説明

2.1 システム設定

「システム設定」メニューは、システム導入・運用時に設定すべき各種情報の登録を行います。設定項目は、以下のとおりです。

項目名	説明
IPアドレス規制	IPアドレスを利用したアクセス規制の有効/無効を選択可能
アップロード禁止拡張子	ファイルアップロードを禁止する拡張子
アカウントロック継続期間	アカウントロック起点日時からロック状態を継続する期間
パスワード誤り閾値	アカウントをロックするためのパスワード失敗閾値
パスワード誤りカウント上限	パスワードの連続誤りをカウントする上限回数
パスワード再登録防止期間	同一パスワードの再登録を防止する期間
パスワード有効期間	パスワードの有効期間
認証継続期間：未操作	未操作時に認証(セッション)を継続する期間
認証継続期間：最長	認証(セッション)を継続する最長期間
画面デザイン選択	画面のデザイン設定

2.2 RBAC(ロールベースアクセス制御) (1/4)

RBACとは

RBACは役割ごとに権限を与える方法です。

ユーザ個人に対して直接許可が与えられるのではなく、ロールを通して与えられるため、アクセス権の管理は、ロールへのアクセス権の割り当てという形になります。

●メニュー毎ごとのRBAC

ユーザ毎にアクセスを許可するロールを付与することで、ロールごとにメニューへのアクセスを制御することができます。また紐付の際には「メンテナンス可」「閲覧のみ」が選択でき、「メンテナンス可」を選択するとデータや履歴の確認、複製、更新、廃止を行えます。「閲覧のみ」を選択するとデータと履歴の確認のみ行うことができます。

●データレコード毎のRBAC

ユーザ毎にアクセスを許可するロールを付与し、データレコード毎にロールを付与することで、データレコード毎のアクセスを制御できます。

上記機能を利用しない場合、デフォルトアクセス権およびアクセス許可ロールを空白にすることで、どのユーザからでも閲覧が可能になります。

操作手順等の詳細につきましては、[利用手順マニュアル](#)をご参照下さい。

2.2 RBAC(ロールベースアクセス制御) (2/4)

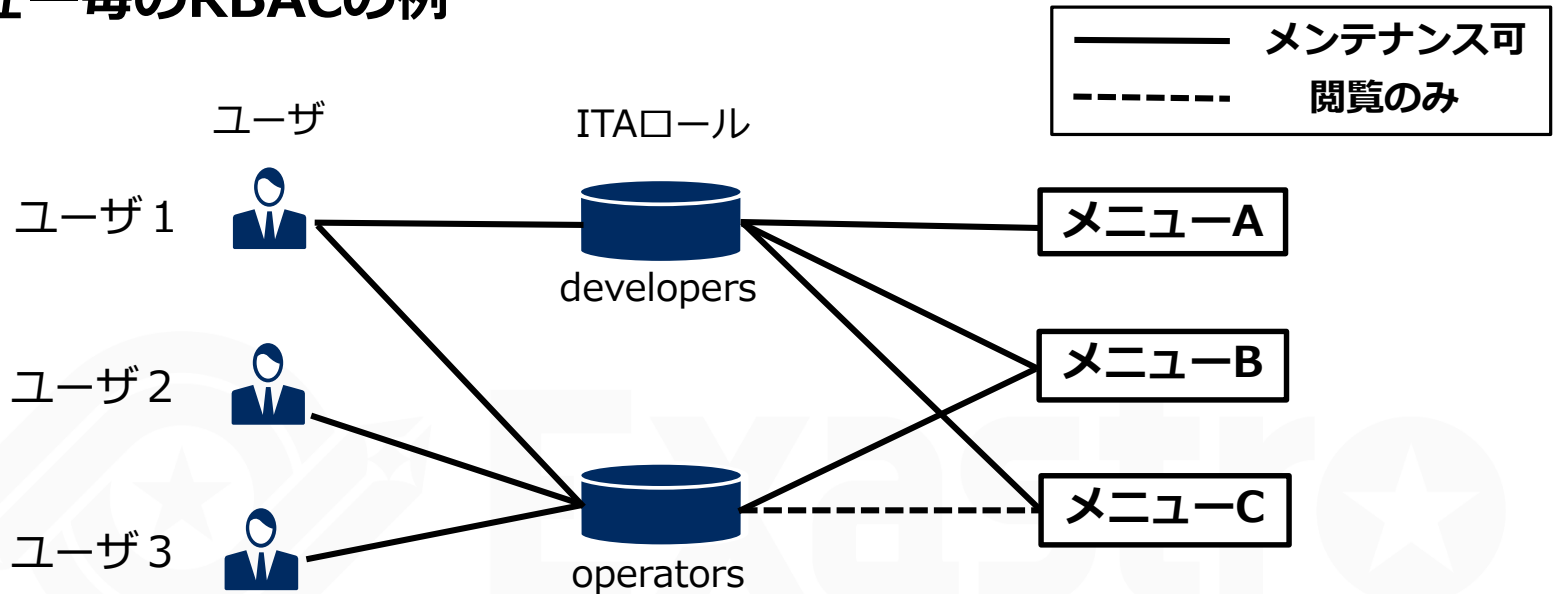
「管理コンソール」メニューグループ内のメニュー説明

- **メニューグループ管理**
 - ・メニューを複数束ねるものです
- **メニュー管理**
 - ・メニューは必ず一つのメニューグループに所属します
- **ロール管理**
 - ・メニューへのアクセス権限を役割定義するものです
- **ユーザ管理**
 - ・ユーザは複数のロールを持つことが可能です
 - ・ActiveDirectoryと連携し、ユーザ情報を取得することが可能です
- **ロール・メニュー紐付管理**
 - ・ロールごとにメニューへのアクセス権限をメンテナンスできます
- **ロール・ユーザ紐付管理**
 - ・ユーザごとに所属するユーザをメンテナンスできます



2.2 RBAC(ロールベースアクセス制御) (3/4)

メニュー毎のRBACの例

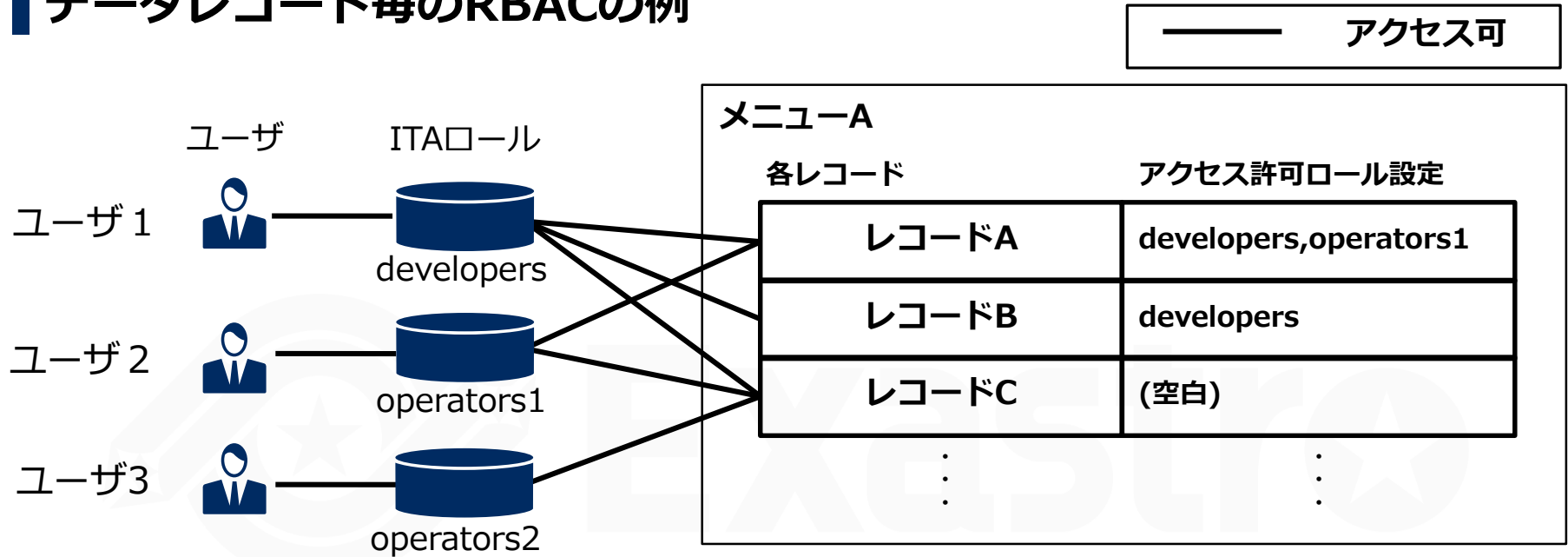


- メニューA・・・
ユーザ1のみがメンテナンス可
- メニューB・・・
ユーザ全てがメンテナンス可
- メニューC・・・
ユーザ1がメンテナンス可、ユーザ2・3が閲覧のみ可

※ ユーザ1は、メニューCに対して『メンテナンス可』と『閲覧のみ』両方の権限がありますが、『メンテナンス可』の権限が優先されます

2.2 RBAC(ロールベースアクセス制御) (4/4)

データレコード毎のRBACの例



- レコードA・・・
developers, operators1へアクセス権を付与
- レコードB・・・
developersのみアクセス権を付与
- レコードC・・・
アクセス許可ロールを空白(全ユーザがアクセス可能)

※各ロールがメニューAとの紐づけを設定していることが前提です。
(前項のメニュー毎のRBAC設定を参照)

3. 基本コンソールの説明

3.1 ITAにおける機器の管理 (1/2)

ITAにおける機器の管理

「基本コンソール」メニューグループ >> 「機器一覧」メニューでは、作業対象ホストの必要情報を登録します。

ホストごとに認証情報が設定可能です。

認証方式については「パスワード認証」と「鍵認証」の2種類から選択ができます。

主な登録項目

- | | | |
|-------------|-------------|----------|
| ・ HW機器種別 | ・ ホスト名 | ・ IPアドレス |
| ・ ログインユーザID | ・ ログインパスワード | ・ 認証方式 |

The screenshot shows the '登録' (Registration) page in the ITA system. The form is divided into several sections. Red boxes highlight the following fields:

- HW機器種別** (Hardware Device Type): A dropdown menu with options like '自動入力', 'NW', 'ST', and 'SV'.
- ホスト名*** (Host Name): A text input field containing 'host1'.
- IPアドレス*** (IP Address): A text input field containing '127.0.0.1'.
- ログインユーザID** (Login User ID): A text input field containing 'root'.
- ログインパスワード** (Login Password): A password input field with a strength indicator.
- 認証方式** (Authentication Method): A dropdown menu with options 'パスワード認証' (Password Authentication) and '鍵認証' (Key Authentication).

Other visible fields include 'MACアドレス', 'ネットワークデバイス名', 'ssh認証鍵ファイル', and '最終更新日時'. There are also buttons for '戻る' (Back) and '登録' (Register).

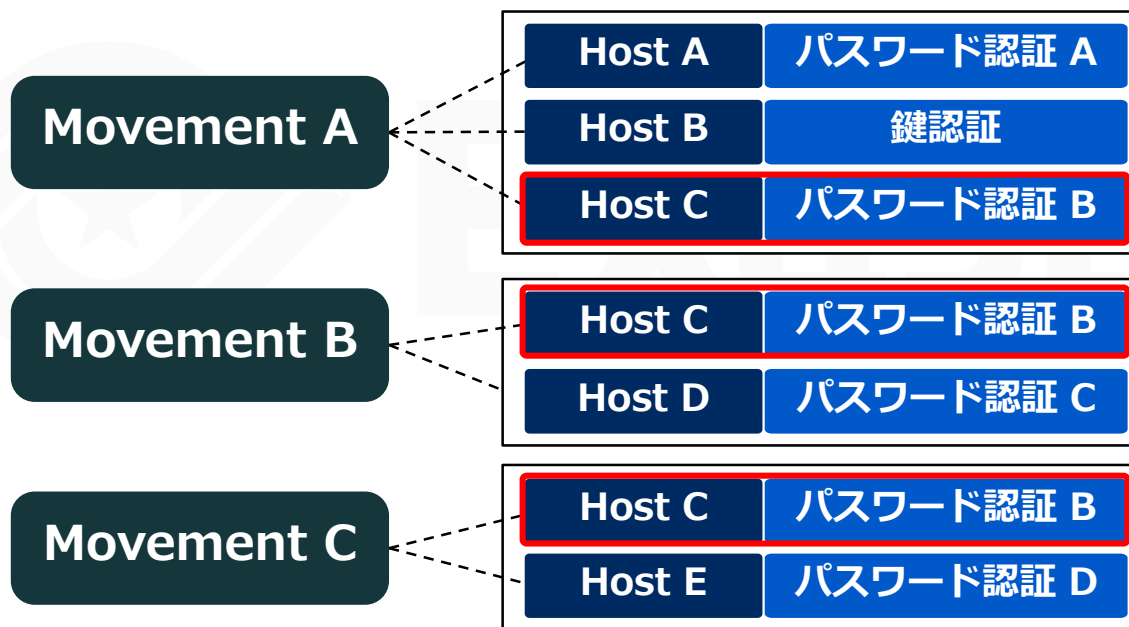
3.1 ITAにおける機器の管理 (2/2)

ITAにおける機器の管理

ITAでは、機器情報を別管理させることにより、機器情報の再利用性を高めることができ、設定情報変更などにも柔軟に対応することが可能です。

これらの機器の管理の活用方法につきましては[クイックスタート](#)を参照ください。

※ 「Movement（ムーブメント※ITAの独自用語）」とは作業の単位を意味します。



【例】 ホストCのパスワード変更が必要になり、変更を実施した。



【結果】 「ホストCが紐付いている全てのMovement」 に自動的に変更情報が反映される。

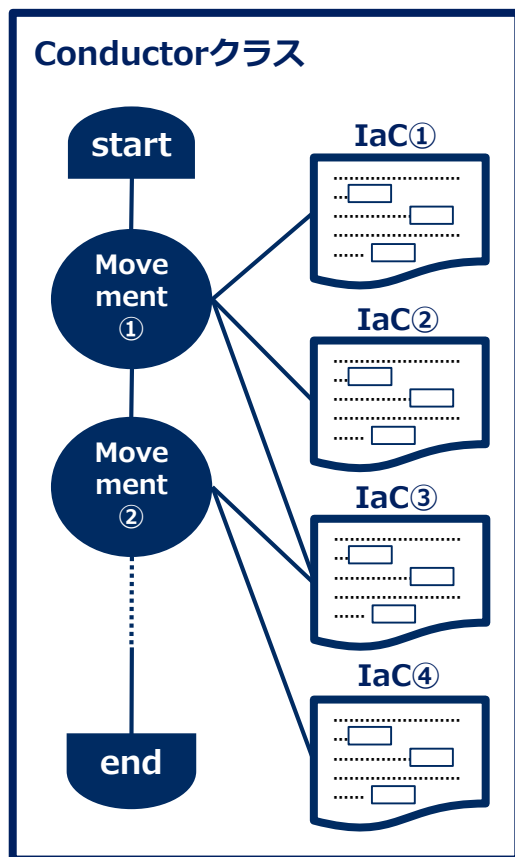
3.2 オペレーションの概要

オペレーションとは

ITAでの作業実行単位のことです。

作業予定、実行履歴などを管理することが可能です。

オペレーションの活用方法につきましては[クイックスタート](#)を参照ください。



オペレーションX

対象機器A/B



パラメータシート

	P 1	P 2	P 3	...
A	-	-	-	
B	-	-	-	

対象機A/Bが
設定されます

オペレーションY

対象機器C



パラメータシート

	P 1	P 2	P 3	...
C	-	-	-	

対象機器Cが
設定されます

3.3 ER図の表示

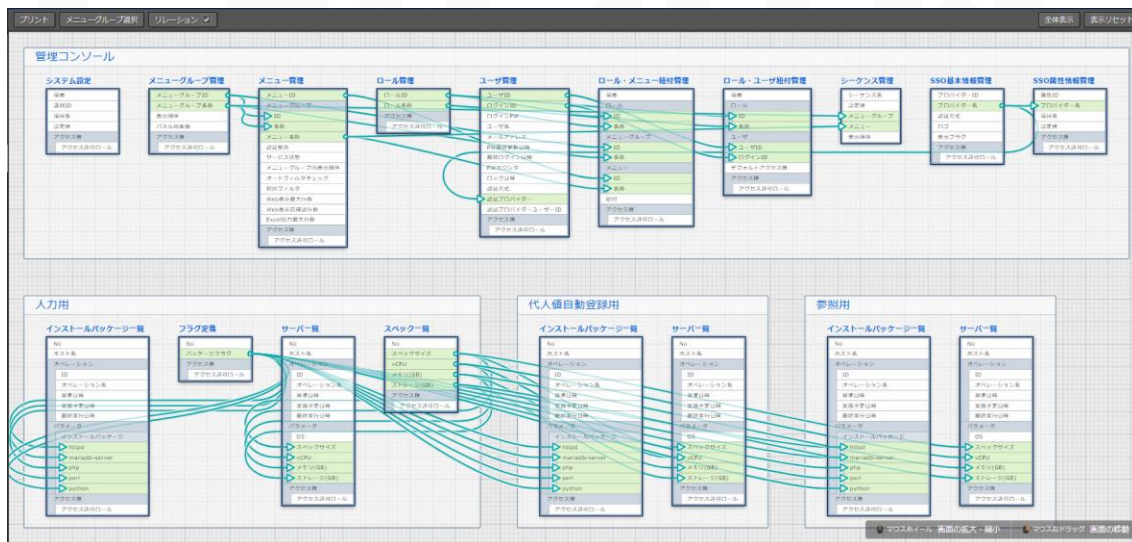
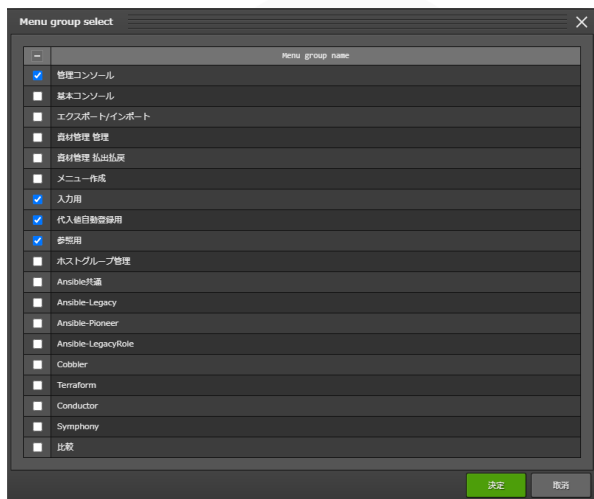
ER図とは

「基本コンソール」メニューグループ >> 「ER図表示」でER図を表示します。

ER図では選択したメニューグループの各メニューと参照データの紐づけ(リレーション)を表示し、プリント出力ができます。

表示内容はログインユーザが閲覧可能権限を持つメニューのみ表示されます。

操作手順等の詳細につきましては、[利用手順マニュアル](#)をご参照下さい。





Exastro